

平成24年8月

「鹿行地区産業安全衛生大会」のご案内

今年も「鹿行地区産業安全衛生大会」が開催されます。当署管内では、死亡・重大災害が多発していますが、この大会を契機に、労働災害「ゼロ」を目指しましょう！！

日程：平成24年9月5日（水） 13時から16時40分（開場12時）

場所：鹿嶋勤労文化会館大ホール

鹿嶋市宮中325 - 1（電話0299 - 83 - 5911）

大会内容

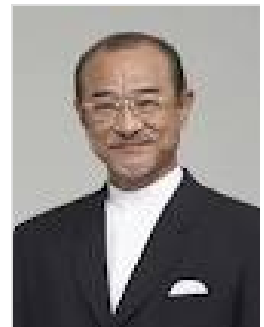
- (1) 主催者代表挨拶
- (2) 安全衛生優良事業場表彰
- (3) 来賓祝辞
- (4) 全国労働衛生週間実施要項説明
- (5) 特別講演（15時から16時30分予定）

「安心出来ない時代の生き方」

～知っておきたい防犯対策～

NPO法人 日本防犯学校学長、犯罪アナリスト

梅本 正行 氏



- (6) 大会宣言

「熱中症にレッドカード」

「茨城産業保健推進センター」

で配布中です！！

作業者が携帯できるサイズで

・熱中症の救急処置

・熱中症対策10か条

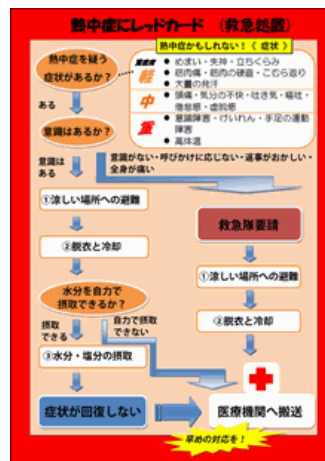
等が分かりやすく書かれています。

お申し込みは

「茨城産業保健推進センター」まで

電話：029 - 300 - 1221

<http://www.ibaraki-sanpo.jp/>



守らないとイエローカード

～熱中症対策10か条～

1. 近天下の作業や暑い職場には「熱中症」の危険があることを心得る
2. 梅雨時でも「熱中症」は発生するので油断してはいけない
3. 作業時間の短縮と涼しい場所での休憩をこまめにする
4. 高温多湿な作業には1週間以上かけて体を慣らす
5. 無症状を予防するようないくつかの作業場や休憩場を準備する
6. 作業前後及び作業中の水分及び塩分の摂取を行う
7. 作業中に次の症状が出たら熱中症の初期症状である可能性が高いので直ちに休息する

「めまい」「失神」「筋肉痛」「筋肉の硬直」「大量の発汗」「頭痛」「足の不快感」「吐き気」「嘔吐」「めまい」「意識障害」

8. 日頃からバランスの良い食事を心がけましょう。食べ過ぎ、飲み過ぎに注意し、ウェイトコントロールを心がけましょう
9. 適度な運動を日頃から行い、体力をつけましょう
10. しっかり睡眠をとって、疲れをとりましょう

熱中症対策グッズ

発症者に対して応急手当を行うのに必要な物

- ・冷却剤
- ・水のう、アイスバックなどと、冷水を作るために十分な量の氷
- ・冷たいおしぼり
- ・送風機（送風できるもの、うちわ、扇風機など）
- ・水（可能な限りその中に氷を入れておく）
- ・食塩水（塩分濃度0.1～0.2%）
- ・スポーツドリンク（ナトリウム40～80mg/100ml）
- ・経口補水液

茨城産業保健推進センター
建設業労働災害防止協会茨城県支部
茨城労働局労働基準部

「死亡・重大災害」をストップさせよう！！

鹿嶋署管内では、昨年10月以降、死亡・重大災害が多発しています。特に、本年3月から6月までの間に、6件の死亡災害が発生し、8名の方が亡くなっています。また、その6件のうち、半数が3名以上の死傷者数となる「重大災害」となっています。

休業4日以上の労働災害も「建設業」、「製造業」で大幅な増加となっています。

めざせ死亡災害ゼロ 250日
31日 (8月1日現在)

(過去最長：平成22年9月17日～平成23年10月19日までの398日間)

平成24年の労働災害発生状況

	平成24年	平成23年
製造業	39	30
建設業	29	26
運輸交通業	12	14
その他	39	37
合計	119	107

数字は死亡災害(6月末日現在)

平成24年の死亡災害事例(鹿嶋署管内)

	業種	発生月	事故の型	発生状況
1	化学工業	3月	火災 (2名死亡) 重大災害	工場内で振動ふるい機を使用して、粉状の有機化合物を小分けし、袋に詰める作業を行っていたところ、振動ふるい機付近から出火し、作業員2名が死亡し、1名が火傷を負った。
2	廃棄物処理業	4月	墜落	フォークリフトのフォークにパレット代わりにした軽トラックの荷台上の古タイヤをトラックに積み替えていたところ、軽トラックの荷台が転倒し、荷台と共に地面に墜落し、数日後に死亡した。
3	土木工事業	5月	激突され	災害復旧の下水道工事現場において、掘削した溝を埋め戻すため、バックホーを前進させた時、地面が陥没し、バックホーが前のめりになり、バックホーの前方にいた作業員の背中にバケットが当たり死亡した。
4	その他の建設業	6月	交通事故 重大災害	鹿嶋市内の建設工事現場で作業が終了し、福岡県の会社に戻るため、ワゴン車で名神高速道路を走行中、左後輪がバンクし、中央分離帯に激突し、横転し、1名が死亡し、6名が重軽傷を負った。
5	金属製品製造業	6月	崩壊・倒壊	出張作業から戻り、翌週の作業の準備を行い、作業終了後、製品置き場に積み上げられた金属製ラックに上ったところ、ラックが崩れて下敷きとなって死亡した。
6	土木工事業	6月	崩壊・倒壊 (2名死亡) 重大災害	岸壁の建設工事において、鉄筋コンクリート製の壁を作るため、高さ4メートル、長さ30メートルのかご状の鉄筋の組み立てを行っていたところ、組み立てていた籠状の鉄筋が海側に倒れ、作業していた労働者3名が海に投げ出され、2名が水死した。

「重大災害」とは・・・一度に3名以上が死傷した災害です。

「鹿嶋労基署広報」のバックナンバーは茨城労働局のホームページに掲載しています。

アドレスは下記のとおりです。ぜひ、ご覧ください。

http://ibaraki-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news_topics/kantokusho_oshirase/kashima.html